

令和7年度 自己評価結果

佛教大学附属こども園

1 佛教大学附属こども園の教育目標

佛教大学附属こども園は、嵯峨広沢の自然と歴史に恵まれた美しい静かな環境の中で幼児の心身の発達を助長するとともに、仏教精神による情操豊かな人間を育成することを目的として、日々の保育を行っています。1976年（昭和51年）の佛教大学附属幼稚園創立から50年が経過し、幼児教育・子育て支援の場として地域社会にも貢献していくことを志しています。

教育目標を「仏教精神に基づく情操豊かな子ども」「健康で意欲的に活動する子ども」「身近な環境に関わり創造する子ども」の育成としています。重点目標を、仏教精神、特に法然上人のみ教えに基づき、行事・作法を通し生命を尊重する豊かな心を培うとし、一人ひとりを大切にしながら子どもたちの**自己肯定感**を育てています。

乳幼児期に育てることが必要と言われる「**非認知能力**」の中でも、自ら取り組む喜びを感じる「**主体性**」、ともに生きる喜びを感じる「**協働性**」を育むことに主眼を置き、それらを**自然の中で自ら心を動かして遊ぶこと**、**友だちと体を十分に動かして遊ぶこと**などを通して育みたいと願っています。

2 本年度に重点的に取り組んだ具体的な計画や目標

- 幼保連携型認定こども園教育保育要領理解に基づく「指導計画」の見直し
- 保育の振り返りを基盤とした子ども理解
- 安全対策の推進
- 子育て支援の推進



教育方針

3 評価項目

評価項目	取り組み状況
<p>1 指導計画</p> <p>(a) 全体的な計画・指導計画の見直し。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学年ともに、月始にねらいを設定し、月末に乳幼児の姿から環境構成や援助の在り方・ねらいを見直した。幼保連携型認定こども園教育・保育要領で重点が置かれている「学びへ向かう力」へ理解を深め、指導計画のねらいがその育成につながるものとなっているか確認した。 0歳から2歳児に関しては個別の支援計画を立て、一人ひとりの発達を踏まえ、月ごとの目標を持ち、援助や環境構成の在り方を検討した。その際、その内容を担当者で共有するように努めた。
<p>2 子ども理解</p> <p>(a) 一人ひとりの子ども理解に努め、乳児から幼児にかけての発達を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> エピソード記述（ドキュメンテーション）やポートフォリオを作成し、子どもの姿について振り返る機会とし、子どもの内面理解に努めた。それらを配信するだけでなく、クラス別懇談会や個人面談などで家庭と共有し、共に子どもの育ちにつながる手立ての構築につながった。
<p>3 安全対策</p> <p>(a) 0～5歳児が安心・安全に園生活を送ることができるよう、点検・施設整備を行う。</p> <p>(b) 子どもの心身の健康面に係る対応について教職員間で共通理解を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担当を決め、定期的に遊具・園舎全体の点検を行った。老朽化等対応必要箇所については早急に備品購入や修繕工事を行った。 看護師の配置により、子どものけがや病気の際は医療的な見解を聞きながら対応にあたることができた。子どもの投薬については、昨年度に引き続き、医師の指示書提出を義務付け、安全に投薬を実施した。食物アレルギーへの対応についても医師の診断をもって対応を要することを徹底し、対応策が必要な子どもが明確にした。
<p>4 子育て支援</p> <p>(a) 園行事やクラス別懇談会において、「大切にしたい育ち」について保育教諭と保護者が共通理解を図ることのできる機会を設ける。</p> <p>(b) 子育て講演会・子育てトーク等、保護者同士がともに語り合うことのできる機会を設ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園行事・クラス別懇談会などでは、保育者が保育中のエピソードとともに「大切にしている育ち」を伝え、保護者自身もグループディスカッションの中で自ら子どもとのかかわりを考える機会とした。保育方針に関しては、副園長が全クラス懇談会で説明し、保護者の理解を図った。 育友会主催で互いに子育ての悩みなどを話し合うことのできる「おしゃべりひろば」を実施した。絵本の読み語りや軽食を用意したことでもリラックスした雰囲気の中、子育てに関わらず、意見交換を活発に行うことができた。

4、評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

幼保連携型認定こども園に移行して3年目を迎え、改めて環境や保育者の援助の見直しに取り組んだ。リニューアルしたコンセプトブック（2026年度版）においては、保育方針だけでなく、園と家庭がどのように乳幼児期の子どもたちに関わっていくのかその方向性を示している。乳幼児期に知的好奇心を膨らませて自己決定しながら遊ぶ経験が、その人らしく人生を歩むことにつながるということを教職員間で共通理解し、保育を展開してきた。アンケートの結果から、保護者の方にもその保育方針を概ね理解していただいていることが伺える。

幼保連携型認定こども園「幼保連携型認定こども園教育保育要領」を基盤に作成した「全体的な計画」「月の指導計画」の見直しにあたっては、日々の記録に残されている保育者の援助や環境構成をもとに、指導計画のねらいや内容を振り返った。

乳児の保育については複数担当制であることから、乳児担当者ミーティングを行い、保育環境や保育者の援助について細やかに検討を重ねている。今後も、対話を積み重ね、それぞれの保育者がその都度子どもの育ちにとってどのような関わりが大切なのかを考えながら保育にあたっていく所存である。

安全対策においては、有事の際に子どもの安全を第一に迅速に対応できるよう、多様な側面からの具体策を毎年見直す必要がある。マニュアル見直しと共に、想定外の事態に臨機応変に対応できるように、日々の訓練を積み重ねていきたい。

今年度も、個人面談やクラス別懇談会に加え、副園長からも保育の方針や内容等について話す機会を作った。あらかじめ保育方針を伝えたことで、担任を中心に具体的な保育内容について保護者との話し合いを円滑に進めることができたように思われる。

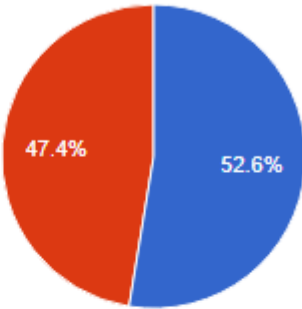
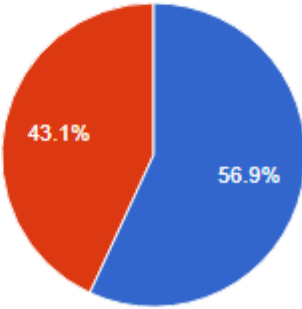
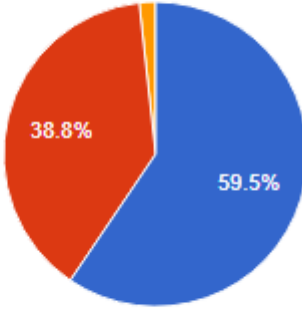
子育て支援においては、講演会後の個別相談やおしゃべり広場など、少人数の方がより悩みや思いを伝えやすいことがわかる。給食業者の協力も得てお茶を飲みながら話し合う機会としたことで、保護者同士がつながりを深める機会となった。

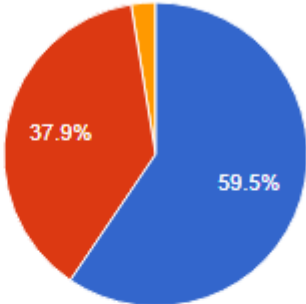
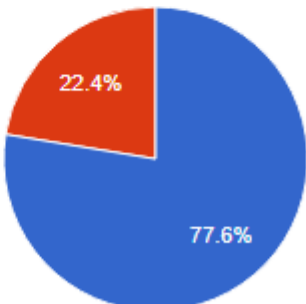
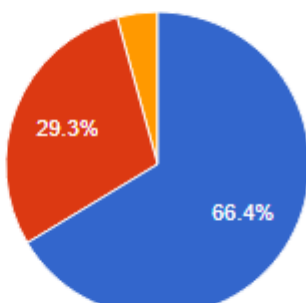
令和7年度は、創立50周年を迎えたこともあり、保育者対象の講演会だけでなく、保護者向けの講演会なども行い、園に携わる大人が子どもたちの育ちにつながる学びを得る機会を持つことができた。「子どもたちに大切に思っていることを伝えること」はどの講演会でも共通していた。この学びを子どもに関わる大人で共有することのできる来年度としたい。

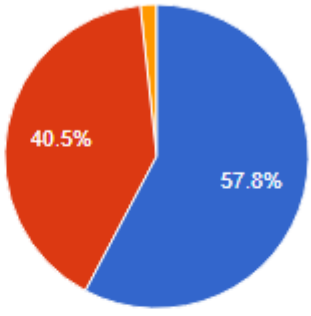



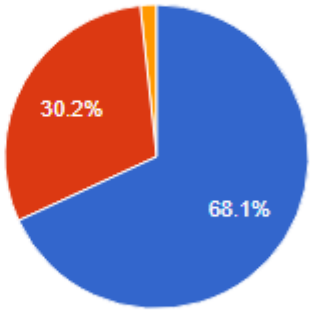



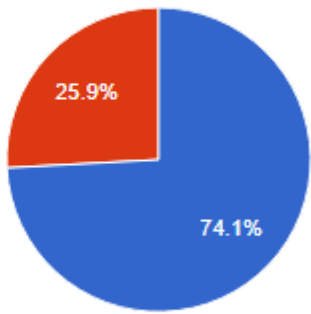


5、今後取り組むべき内容

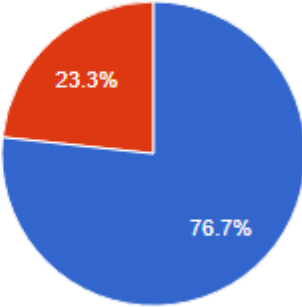
課題	具体的な取り組み方法
保育環境の再構築	・子どもが自ら環境に働きかけて遊ぶための保育室・園庭環境を再構築するため、保育者ミーティングを定期的に行う。
チーム保育の推進	・異年齢児との関わり合いによって育ち合うことができるように、隣のクラス同士の縦割りの保育内容を構築するため、チームミーティングを行う。
安全対策・衛生管理	・災害や想定外のことが起こったときに、子どもにとって最善の策をとることができるように、訓練と具体的な振り返りを行い、次の取り組みに確実につなげるようにする。

6、施設関係者の評価

Q1	こども園の教育方針を理解していますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● そう思う ● とてもそう思う
回答数	そう思う:61 <input checked="" type="checkbox"/> とてもそう思う:55 <input checked="" type="checkbox"/>	
Q3	こども園は教育方針に基づいた保育を展開していると思いますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う
回答数	とてもそう思う:66 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:50 <input checked="" type="checkbox"/>	
Q4	こども園は子どもたちの生きる力の土台を育てていると思いますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う ● あまりそう思わない
回答数	とてもそう思う:69 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:45 <input checked="" type="checkbox"/> あまりそう思わない:2 <input checked="" type="checkbox"/>	

Q.5	こども園の保育は、一人ひとりを大切にしているものになっていますか。	
回答数	とてもそう思う:69 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:44 <input checked="" type="checkbox"/> あまりそう思わない:3 <input checked="" type="checkbox"/>	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う ● あまりそう思わない
Q.6	お子さんは園に安心できる保育者がいますか。	
回答数	とてもそう思う:90 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:26 <input checked="" type="checkbox"/>	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う
Q.7	保護者の方は園に相談できる保育者がいますか。	
回答数	とてもそう思う:77 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:34 <input checked="" type="checkbox"/> あまりそう思わない:5 <input checked="" type="checkbox"/>	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う ● あまりそう思わない

Q.8	お子さんは自分が大切にされていると感じ取ることができていますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う ● あまりそう思わない
回答数	とてもそう思う:67  そう思う:47  あまりそう思わない:2 	
Q.10	お子さんは人と関わる喜びを感じ取ることができていますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う ● あまりそう思わない
回答数	とてもそう思う:79  そう思う:35  あまりそう思わない:2 	
Q.11	お子さんは自然に触れて遊ぶことを喜んでいますか。	 <ul style="list-style-type: none"> ● とてもそう思う ● そう思う
回答数	とてもそう思う:86  そう思う:30 	

Q.12	お子さんは体を動かして遊ぶ気持ちよさを味わっていますか。							
回答数	とてもそう思う:89 <input checked="" type="checkbox"/> そう思う:27 <input checked="" type="checkbox"/>	 <p>● とてもそう思う ● そう思う</p> <table border="1"><thead><tr><th>回答</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>とてもそう思う</td><td>76.7%</td></tr><tr><td>そう思う</td><td>23.3%</td></tr></tbody></table>	回答	割合	とてもそう思う	76.7%	そう思う	23.3%
回答	割合							
とてもそう思う	76.7%							
そう思う	23.3%							